

(記入例 1)

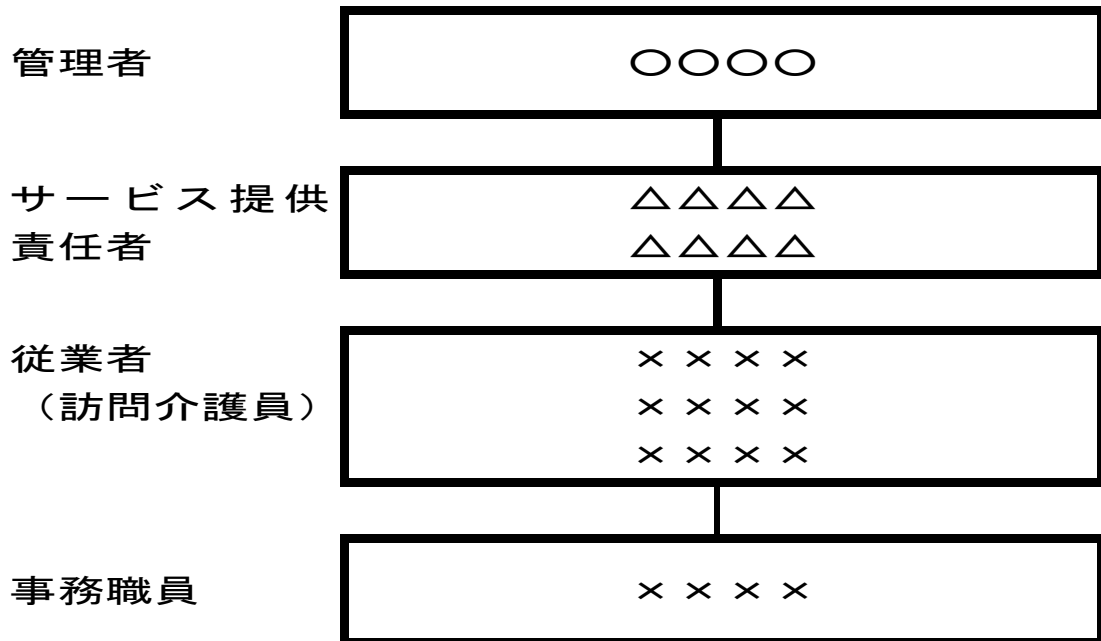
ア 居宅介護（重度訪問介護・同行援護）又は行動援護のみ行う場合

イ 居宅介護（重度訪問介護・同行援護）と介護保険法上の訪問介護（介護予防訪問介護）を行う場合で、管理者、サービス提供責任者及び従業者の全てを同じ体制で行う場合

〇〇〇〇ヘルパーステーション

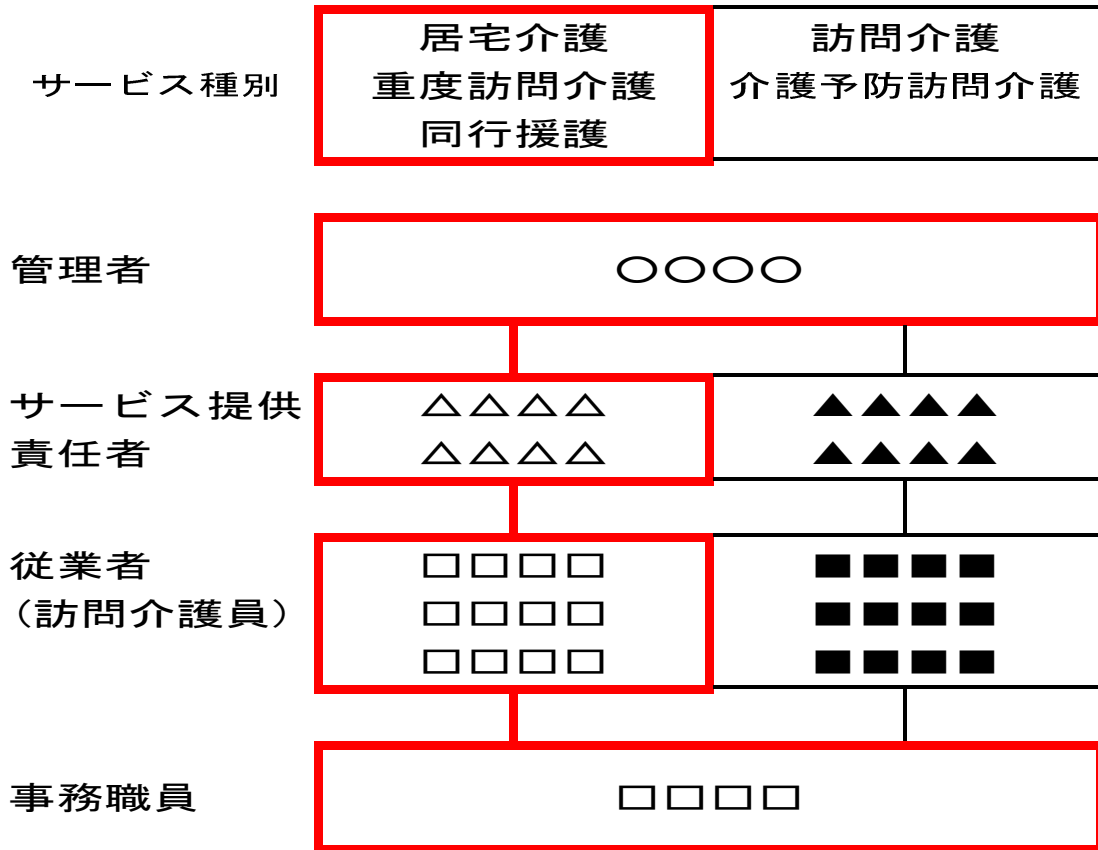
(居宅介護、重度訪問介護、同行援護、訪問介護、介護予防訪問介護)

組織体制図



ウ 居宅介護（重度訪問介護・同行援護）と介護保険法上の訪問介護（介護予防訪問介護）を行う場合で、管理者は兼務、サービス提供責任者及び従業者は別体制の場合

〇〇〇〇ヘルパーステーション 組織体制図

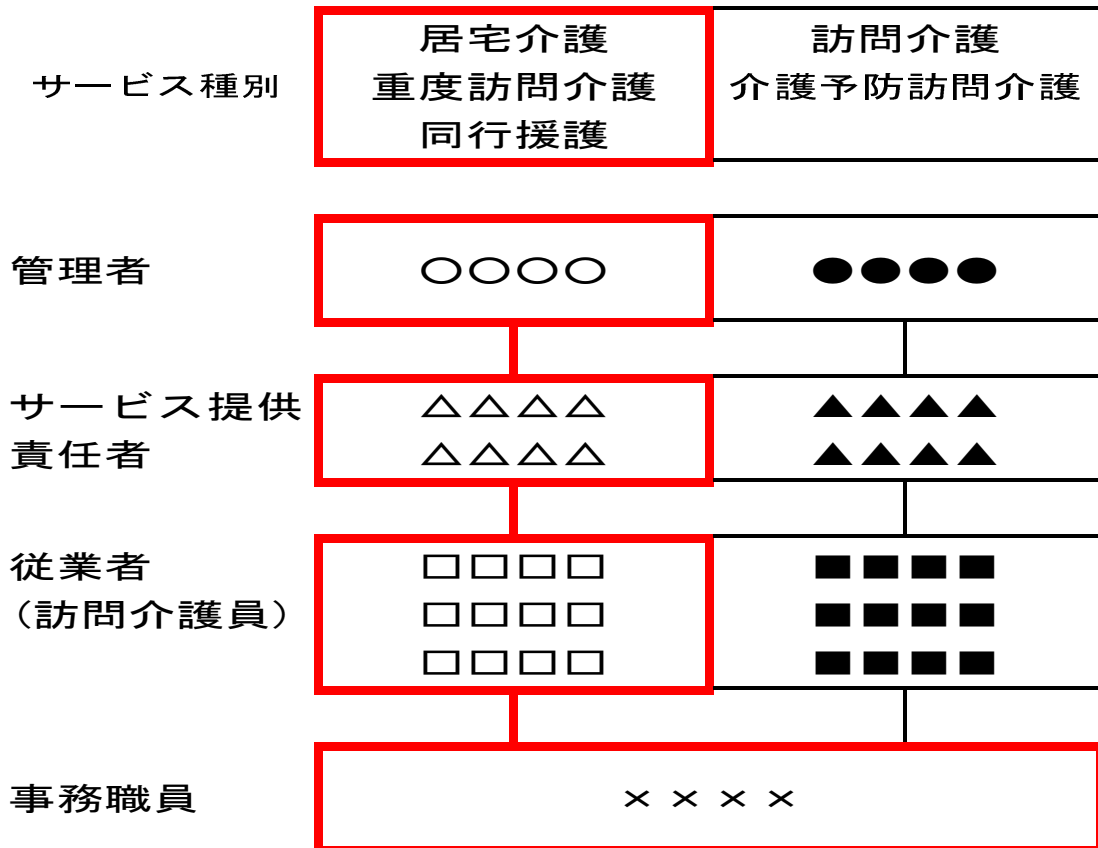


エ 居宅介護（重度訪問介護・同行援護）と介護保険法上の訪問介護（介護予防訪問介護）を行う場合で、

管理者、サービス提供責任者及び従業者の全てが別体制の場合

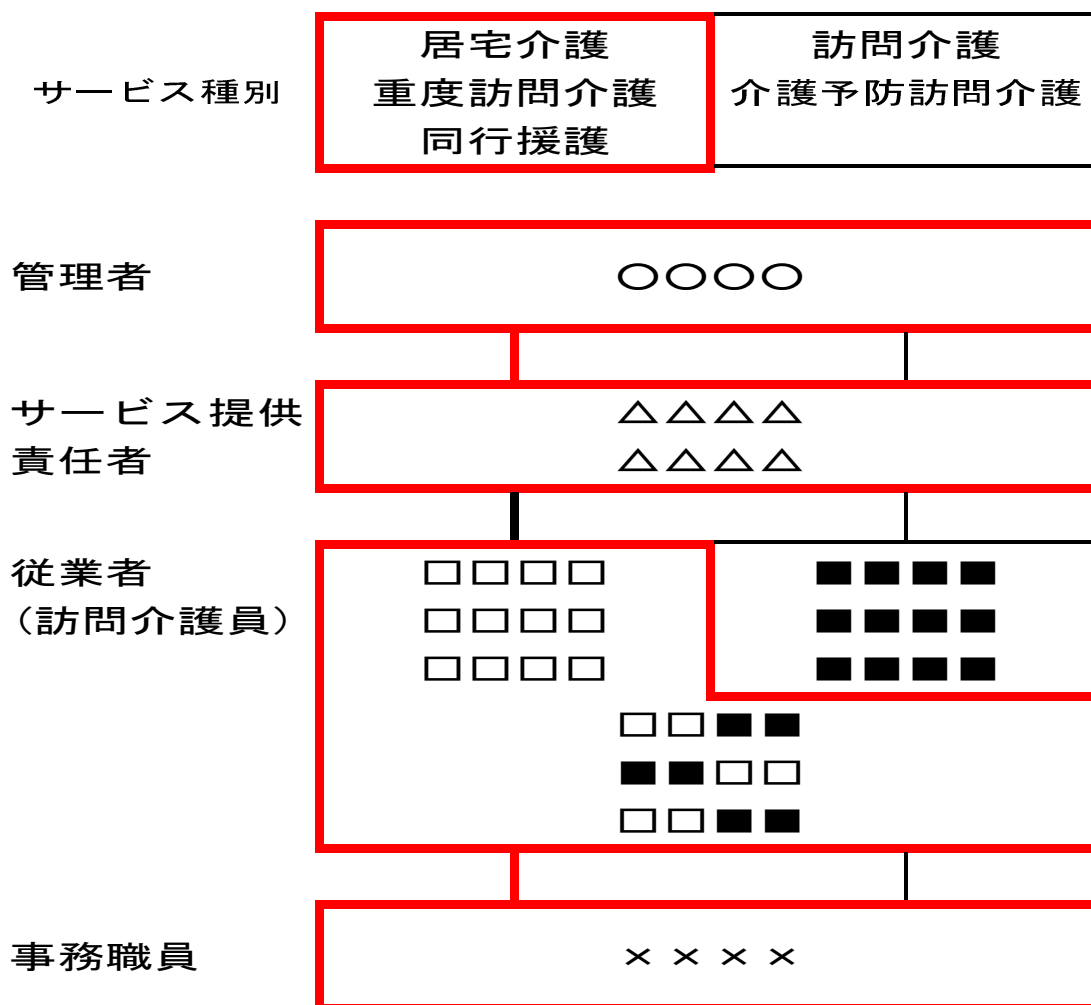
〇〇〇〇ヘルパーステーション

組織体制図



オ 居宅介護（重度訪問介護・同行援護）と介護保険法上の訪問介護（介護予防訪問介護）を行う場合で、 管理者、サービス提供責任者が同じ体制で、従業者の一部のみ別体制の場合

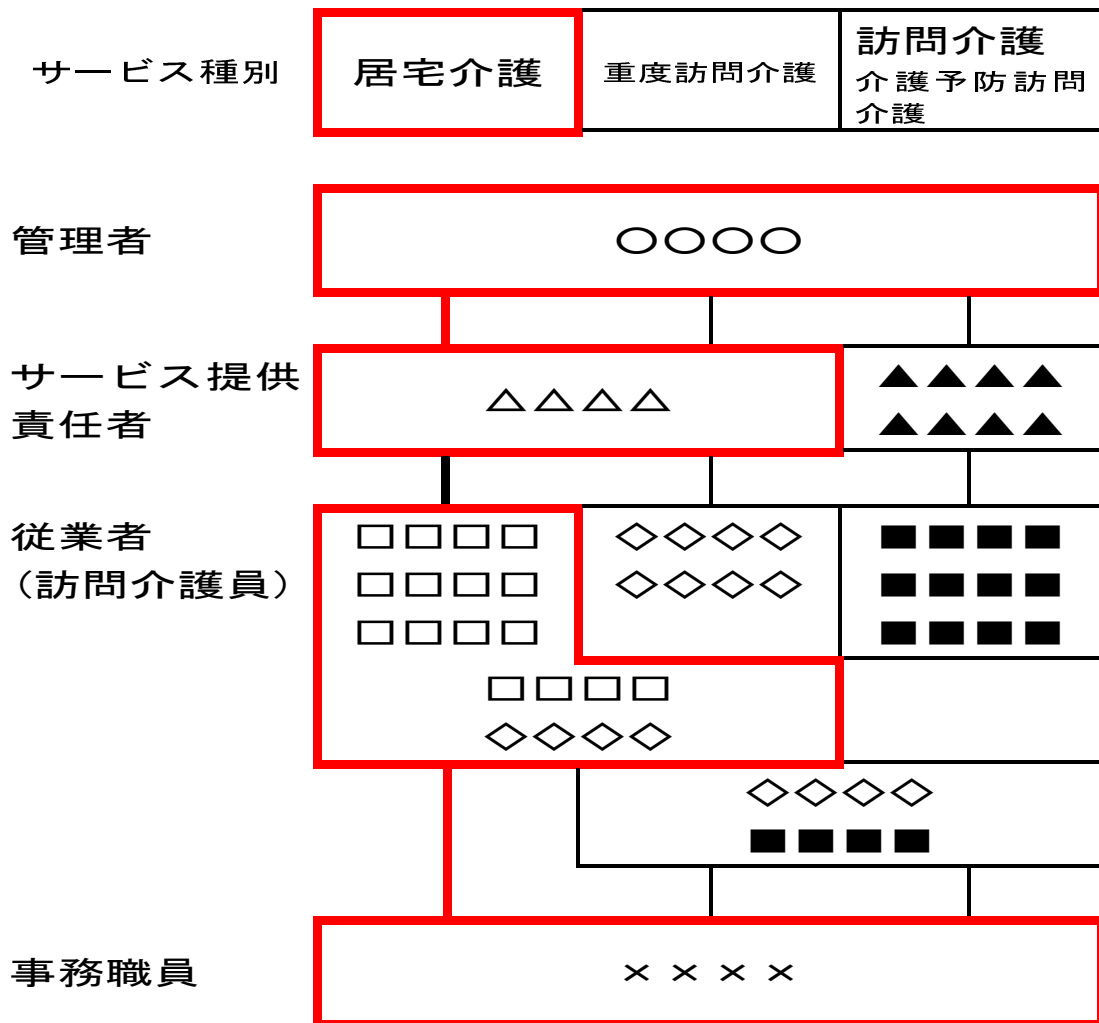
〇〇〇〇ヘルパーステーション 組織体制図



カ 居宅介護（重度訪問介護・同行援護）と介護保険法上の訪問介護（介護予防訪問介護）を行う場合で、 管理者、サービス提供責任者の一部が同じ体制で、従業者の一部のみ別体制の場合

〇〇〇〇ヘルパーステーション

組織体制図



(記入例 2)

事業計画書

サービスの種類 (居宅介護・重度訪問介護・同行援護)

事業所又は施設名 (○○○○ (申請書に記載したものと同一の事業所名称))

項目	内容						
1 事業の内容	<p>障害者総合支援法に規定される障がい福祉サービスの居宅介護、重度訪問介護を、下記業務を通じて適切に実施する。</p> <p>(1) 居宅介護サービス、重度訪問介護サービスの提供 (2) 居宅介護計画、重度訪問介護計画の作成 (3) 利用者負担額等の請求・受領事務 (4) 介護給付費請求・受領業務 (5) 利用者からの相談・苦情処理に関する業務 (6) 事業統計の作成 等</p>						
2 事業実施の予定時期	令和○○年○月○日						
3 従業者等の予定人員	<p>(1) 管理者 (サービス提供責任者を兼務) (2) サービス提供責任者 ○名 (うち1名は管理者を兼務) (3) 従業者 ○名 (うち、常勤○名、非常勤○名) (4) 事務職員 ○名</p>						
4 利用者の推定数及び通常の事業地域内外比率	<p>(1) 利用者の推定数 通常の事業の実施地域及び近隣地域からの利用 ○名 (2) 通常の事業の実施地域内外の利用者比率 (見込み)</p> <table><tr><td>< A市 ></td><td>80%</td></tr><tr><td>< B市 ></td><td>15%</td></tr><tr><td>< C町 ></td><td>5%</td></tr></table>	< A市 >	80%	< B市 >	15%	< C町 >	5%
< A市 >	80%						
< B市 >	15%						
< C町 >	5%						

様式は任意です。必要な項目があれば、上記項目に加えても差し支えありません。

(記入例 3)

事業開始月から定款に記載されている法人の会計年度終了月まで

単価は全て参考です。正しい単価で作成してください。

収 支 予 算 書

(令和 年 1 0 月 ~ 令和 年 9 月)

※居宅介護及び重度訪問介護に係るもの

(単位：円)

科 目	金 額	根 拠
収入 (C=A+B)	20,000,000	(1ヶ月)
介護給付費収入・・・A =(1)+(2)+(3)	8,000,000	身体介護中心・・・A @5,000円/h×10回×5人=250,000円 家事援助中心・・・B @2,000円/h×10回×5人=100,000円 通院等乗降介助・・・C @1,000円/h×40回×5人=200,000円 (A+B+C)×10ヵ月=5,500,000円 重度訪問介護・・・D @3,000円/h×10回×5人=150,000円 D×10ヵ月=1,500,000円
居宅介護・・・(1)	5,500,000	
<u>重度訪問介護</u> ・・・(2)	1,500,000	
行動援護・・・(3)	1,000,000	
介護保険料収入・・・B	12,000,000	
訪問介護事業、介護予 防訪問介護事業	12,000,000	
支出 (D=(4)～(9)の計)	17,700,000	
人件費・・・(4)	11,000,000	(1ヶ月) 管理者 250,000円=E サービス提供責任者 200,000円=F 従業者(ヘルパー) 500,000円=G 事務職員 150,000円=H (E+F+G+H)×10ヶ月=11,000,000円
賃貸料・・・(5)	2,000,000	200,000円×10ヶ月=2,000,000円
光熱水費・・・(6)	500,000	50,000円×10ヶ月=500,000円
通信費・・・(7)	200,000	20,000円×10ヶ月=200,000円
事務費・・・(8)	3,000,000	300,000円×10ヶ月=3,000,000円
その他・・・(9)	1,000,000	100,000円×10ヶ月=1,000,000円
居宅介護、重度訪問介護 に係る支出・・・E =(D)×{((1)+(2))÷(A)}	6,195,000	$17,700,000 \times \frac{7,000,000}{20,000,000} = 6,195,000$
差引収益{(1)+(2)}-(E)	805,000	

※ 科目は、それぞれの法人等に適用される会計基準等で作成してください。

それによりがたい場合については、上記を参考にしていただいて差し支えありません。

※ 申請するサービスに要する経費のみを記載してください。(他の障がい福祉サービスや介護保険法に基づくサービスに要する費用とは分けて記載してください。また、居宅介護、重度訪問介護及び同行援護を併せて行う場合は、各事業ごとに分けて(按分をするなどして)記載してください。)